

庄・蔵本遺跡の弥生木製品

平成 27 年度徳島大学埋蔵文化財調査室ミニ展示

徳島大学蔵本キャンパスは、縄文時代晩期から江戸時代の遺跡である庄・蔵本遺跡の上に立地しています。徳島大学埋蔵文化財調査室と徳島県教育委員会によって 1982 年から計 29 回の調査を行いました。弥生時代に関しては、水田跡・畠跡・墓・住居などがみつき、当時の生活や集落の様子をうかがい知ることができます。特に、溝や旧河道からは農具・祭祀具・狩猟具・容器・楽器・建築部材などの木製品が良好な状態で出土しました。今回は、これまでに保存処理を終えた木製品を中心に展示を行います。



庄・蔵本遺跡出土木製品

2015 年 **9/7** (月) - **11/29** (日) *

* 予定を繰り上げて終了することもあります。ご了承ください。

徳島大学附属図書館本館 3F

資料展示室

月～金 8:30-22:00、土・日・祝日 10:00-17:00 開館
(9 月は月～金 8:30-17:00、土 10:00-17:00 開館、日・祝日休館) ※開館時間が変更されることがありますので、図書館ホームページでご確認ください。

〒770-8507 徳島県徳島市南常三島町 2-1

お問い合わせ先

徳島大学埋蔵文化財調査室

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町 2-50-1

TEL & FAX 088-633-7236



第 13 次調査東病棟地点・一木鋤出土状況